

第2回スマイルインタビュー



玖波やっこ保存会について教えてください。

「玖波宿本陣 陣入やっこ」が大竹市の重要文化財（無形文化財）に指定されています。保存会は、玖波祭りやっこを披露するので、祭り前1か月間ほとんど毎日練習しますね。

人数は現在何名程度ですか？

中学生が5人、高校生が10人、社会人が15人です。

やっこは、江戸時代どのような役割だったのですか？

玖波は宿場町として栄え、本陣があったので、参勤交代の大名行列が本陣に到着の際と出立の際、先払いのために、やっこが先兵として毛やりを振っていました。

市内には3地区やっこがありますが、玖波やっこの特徴は？

「毛やり」を手渡しするのが特徴。



練習風景

形は「振込み」という形で大名行列を迎えます。

かけ声の意味は？

「インヨーヒー」、「インヨートマージ」、「インヨーガヘノヘ」とかけ声を出します。意味は、「すべてのものは交わっていくことにより前進して行くことができる」です。

若い人が多いですが後継者問題は？

玖波の子は、中学生の時に旗持ちをしてみても、やっこに憧れ、高校生になり

やっと「毛やり」を持てます。そして社会人になり、また違う役割を持ちます。後継者問題については、危惧してないのですが、神輿を担ぐ人が減ってきているのが気がかりです。

最後に、何か一言お願いします。

玖波祭が盛り上がるためにも、人口が増え、まちが賑わってほしいのが私たちの願いです。



代表の澄川さんと、中学生たち

あとがき

9月議会冒頭、議会人事が行われ、新しい議会体制が決定しました。広報広聴特別委員会も改選を行いました。が、ほとんどの委員が留任となり、これまで実施してきた「読みやすい議会、だより」作りに向けて再度取り組むことになります。

8月号で実施したスマイルインタビューも評判は上々。多くの方の笑顔は今後も紹介できることを願っています。10月は各地区でお祭りが実施されました。祭りの実施には関係者の多大な努力を要しますが、住民同士の絆を深める絶好の機会でもあります。これからも多くの方がまつりに参加し、ひいては大竹市民の絆が深まり、「住んで良かった」と多くの方が思える様なまちになることを議会も応援します。



9月から新しい委員で頑張ります。よろしく願います。



広報広聴特別委員

委員長
副委員長

乃美 晴一
網谷 芳孝
藤井 隆馨
北林 隆一
山崎 雅一
細川 雅一
日域 究一

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。